デジタル重量台秤

ARX-60K

取扱い説明書

⚠ 警　告

- この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

VIBRA

はじめに

このたびはＡＲＸ－６０Ｋをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ＡＲＸ－６０Ｋは
重量検品に威力を発揮するチェッカー機能や、カウンティング機能を持ち、幅広くご利用いただけます。
当製品の機能や使用方法を十分にご理解いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。
なお、この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。

目次

1．ご使用になる前に .... 1～2
2．計量のしかた 3
3．チェッカー機能 .... 4～5
4．カウンティング機能 6
5．プリンター内蔵タイプご使用の場合.. 7～9
6．故障かな？と思ったら 10
7．標準仕様 11

おねがい

●製品の改良により、仕様や外観を変更することがありますので、ご了承ください。

●本書でご不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

●機器・システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップ等の副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

新光電子株式会社

1．ご使用になる前に

ご使用上の注意

1．精密機械ですから、急激なショックを与えないでください。

2．計量皿に物をのせたまま放置しないでください。

3．故障のもとになりますから、絶対に分解しないでください。

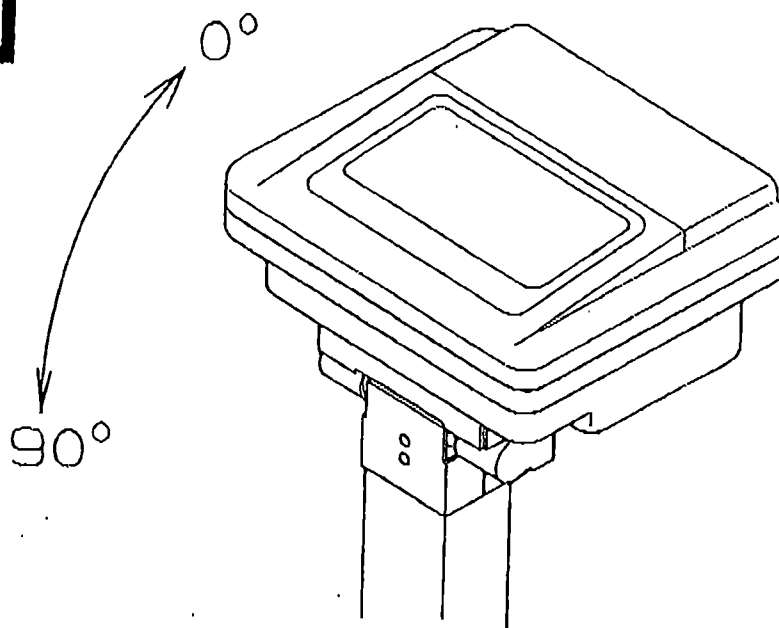
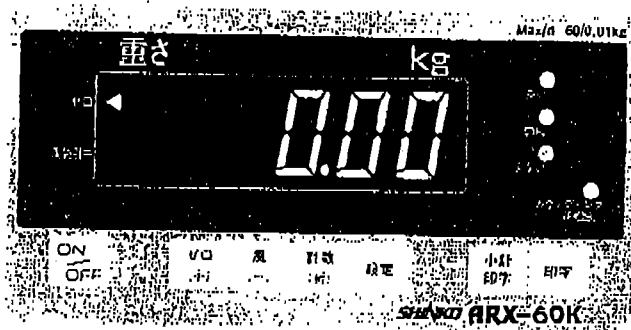
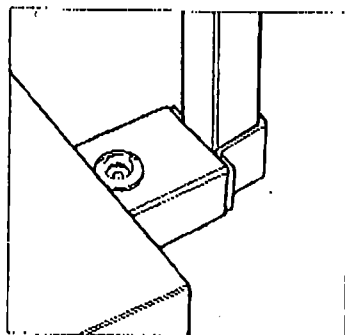
4．下記の場所でのご使用は避けてください。
 (a)温度変化の激しい所
 (b)直射日光の当たる所
 (c)湿度の高い所
 (d)ほこりの多い所
 (e)強い風が当たる所
 (f)不安定な台や振動の激しい所

5．電源はＡＣ－１００Ｖを使用します。
 １つのコンセントに多数のプラグをつないだり、大消費電力の機器などと同じコンセントでの使用は避けてください。

6．本体は必ず水平にしてご使用ください。

7．本体のお手入れは、柔らかい布でから拭きするか、中性洗剤をご使用ください。シンナーなどは絶対使用しないでください。

8．持ち運びの際は、必ずハカリ部を持って運んでください。
 表示部や支柱だけを持って動かさないようにしてください。

表示部の角度調節

各部の名称

各キーのはたらき

ON / OFF

【ON】⇨電源を入れます。
【OFF】⇨電源を切ります。

ゼロ (+)

【ゼロ】⇨ゼロ点を補正し、表示を「0」にします。
【 + 】⇨上下限値を設定する時、数字をアップします。

風 (−)

【 風 】⇨風袋引きをします。風袋をのせてからキーを押します。
【 − 】⇨上下限値を設定する時、数字をダウンします。

計数 (桁)

【計数】⇨カウンティングモードに切替えます。
カウンティングモードで単位重量を設定する時、サンプル数を切替えます。
【 桁 】⇨上下限値を設定する時、桁を移動します。

設定

【設定】⇨①上下限値を設定する時、使用します。
②カウンティングモードで単位重量を設定する時、使用します。
③日付を設定する時、使用します。

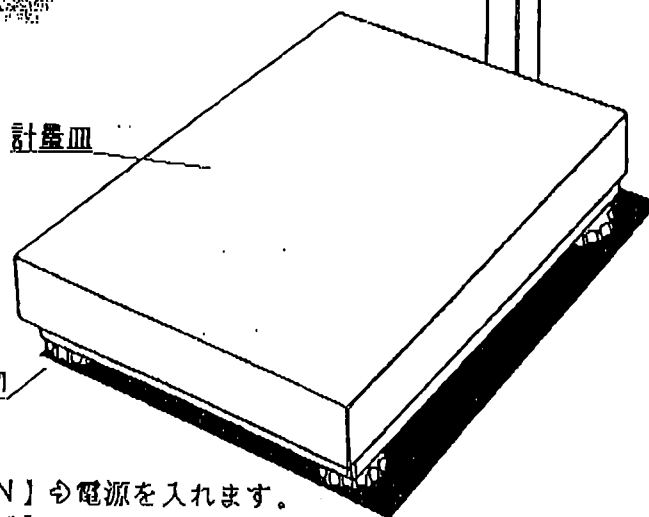
プリンター内蔵タイプのみ

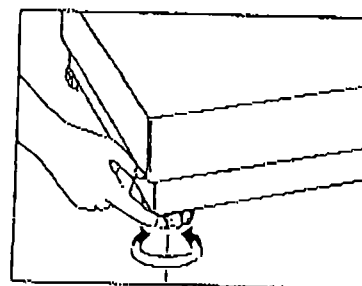
小計印字

【小計印字】⇨計量値を小計して印字します。

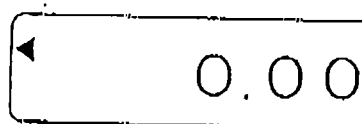
印字

【印字】⇨計量結果を印字します。

2. 計量のしかた

1. 計量の準備

安定した床面または台にのせ、水平器の気泡が丸穴の中心に入るよう、4ヶ所の水平調整脚を回して調整してください。

電源プラグが、AC-100Vコンセントに差し込まれているか確認してください。
計量皿に何ものっていないことを確認してください。

2. 電源を入れます

ON/OFF

表示チェック後、右の表示になります。

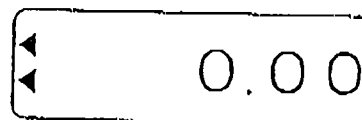
ゼロ ◀ 0.00

ゼロ点マーク（◀）が表示されていない時は、 ゼロ を押してください。

3. 風袋引きをします

風袋を計量皿にのせ、

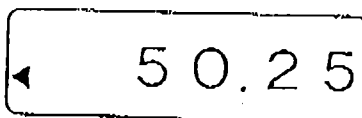
風

ゼロ ◀
風袋引中 ◀ 0.00

・風袋引き解除 ⇨計量皿に何ものっていない状態で 風 を押します。

4. 計量を行います

計量物を計量皿にのせます。

計量値を読みとります。

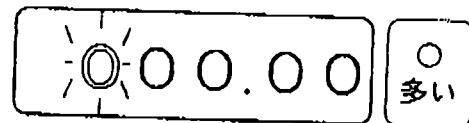
◀ 50.25

3. チェッカー機能 【上・下限値設定モード】

〜上・下限値を設定して、重量チェッカーとしてご利用いただけます。

1．上・下限値を設定します

【参考】・上・下限の設定値は、電源を切っても記憶しています。
ただし、ひょう量切替えを行った場合、設定値はクリアされます。

【注意】ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
（ゼロ点以外のとき、または風袋引中はモード切替えできません。）

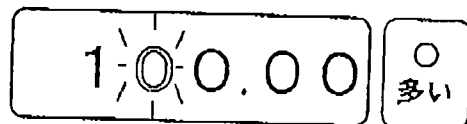
[設定]

〈多いマーク表示〉（橙）

1）上限値を設定します。

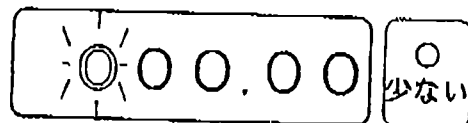
点滅している桁の数字を設定します。

[ゼロ(+)] [風(−)] で数字が１づつアップ・ダウンします。

一番右の桁は、最小表示に応じた設定をします。
最小表示により〈0→2→4→6→8〉〈0→5〉と数字が替わります。

[計数(桁)]

数字の点滅は右の桁へ移動します。

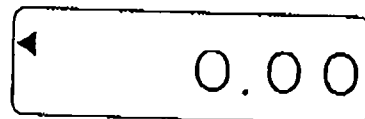
上限値を設定したら、

[設定]

〈少ないマーク表示〉（赤）

【参考】・設定値がひょう量以上の場合、
設定前の表示に戻りますので、上限値を再設定してください。

2）下限値を設定します。（上限値の設定と同様）

下限値を設定したら、

[設定]

《設定完了》

〈計量モードの表示〉

注意　・上限値より下限値が大きい場合は、設定前の表示に戻ります。
下限値を再設定してください。

参考　・上限値、下限値どちらかのみの設定も可能です。

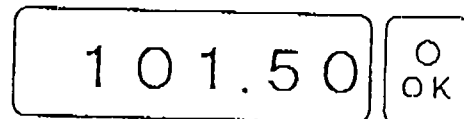
・下限値もひょう量以上の設定はできません。

2．計量を行い、重量チェックします

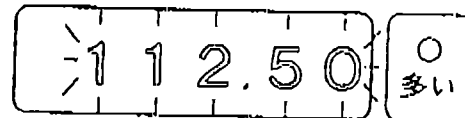
（例：上限値１０５kg／下限値１００kgと設定した場合）

計量物を計量皿にのせます。

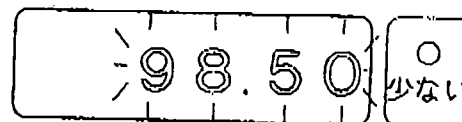
a）下限値 ≦ 計量値 ≦ 上限値
（計量値が設定範囲内のとき）

（緑）

➩ＯＫマークが表示され、
そのまま重量が表示されます。

b）計量値 ＞ 上限値
（計量値が上限値を上回ったとき）

（橙）

➩多いマークが表示され、
表示全体が点滅し、ブザー音でお知らせします。

c）計量値 ＜ 下限値
（計量値が下限値を下回ったとき）

（赤）

➩少ないマークが表示され、
表示全体が点滅し、ブザー音でお知らせします。

3．上・下限値の設定を解除する場合

チェッカーとしてご使用にならない時は、

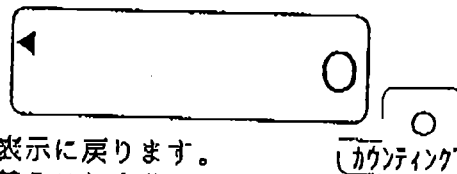
４ページの操作で、上・下限の設定値をともに「０」にしてください。

4. カウンティング機能 【カウンティングモード】

〜ワンタッチ切替で、カウンティングスケールとしてもご利用いただけます。

1．カウンティングモードに切替えます

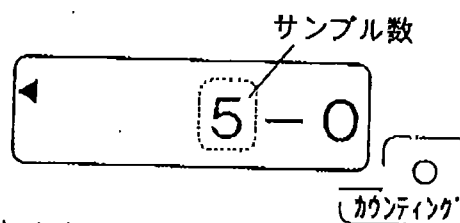
注意 ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
（ゼロ点以外のとき、または風袋引中はモード切替えできません。）

［計数］

◀ 0　　カウンティング

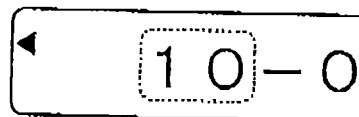
参考
・再度「計数」を押すと、計量モードの表示に戻ります。
・プリンター連動タイプは、モードを切替えると自動的に小計印字します。

2．単位重量を設定します

カウンティングモードに切替え、

［設定］

・「計数」を押すと、サンプル数が替わります。
（5→10→20→50の4種類）

［計数］

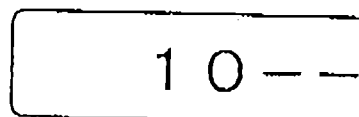
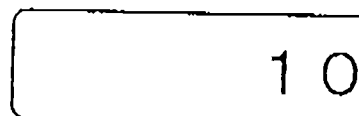
◀ 10－0

表示されているサンプル数と同数（この場合は10個）の計数物を計量皿にのせ、

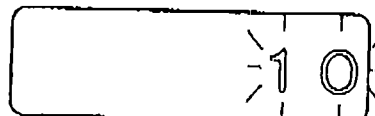
［設定］

10－－

⇩

《設定完了》

10

注意 ・この時、点滅表示したら、単位重量＜最小表示であり、正確な計数はできません。

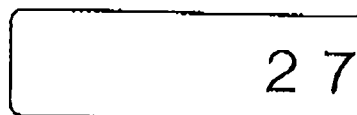
10

・サンプルをのせずに「設定」を押すと、設定されていた単位重量はクリアされます。

参考 ・設定した単位重量は更新しない限り、電源を切っても記憶しています。

・サンプル数を多くすると、計数誤差は少なくなります。

3．計数を行います

計数物を計量皿にのせます。
⇒個数が表示されます。

27

5. プリンター内蔵タイプご使用の場合 【オプション】

〜プリンター内蔵タイプをご使用の場合、計量値を印字・記録することができます。

1．プリンターに印字する日付を設定します

・毎朝必ず日付設定を行ってください。

電源を入れます。

ON/OFF

（年）

（日付設定モード表示）

参考 ・日付を変更しない場合は、「設定」を押すと計量モードの表示になります。

1）年を設定します。

点滅じている桁の数字を設定します。

ゼロ（＋） 風（−） で数字が１づつアップ・ダウンします。

計数（桁）

数字の点滅は、右の桁へ移動します。

P 1 − 9 5 （年）

年を設定したら、

計数（桁）

P 2 − 0 0 （月）

2）月を設定します。（1の年設定と同様）

P 2 − 0 2 （月）

月を設定したら、

計数（桁）

P 3 − 0 0 （日）

3）日を設定します。（1の年設定と同様）

P 3 − 2 1 （日）

参考 ・「計数（桁）」を押すと、
1の表示に戻ります。
（年月日の設定の確認ができます。）

P 1 − 9 5 （年）

年月日の設定を終えたら、

［設定］

《設定完了》

〈計量モードの表示〉

［参考］・設定した日付は、電源を切っても記憶しています。

2．計量を行い、計量値を印字します

レシートがセットされているか確認してください。

計量物を計量皿にのせます。

・自動印字の場合、自動的に計量値を印字します。

・手動印字の場合、［印字］を押して印字します。

3．小計を印字します

［小計印字］

・毎回印字の計量値を小計して印字します。

・電源を入れてから、または前回の小計より後に印字された計量値を小計します。

［注意］・電源を切ると、それまで記憶していたデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

・一度小計すると、それまでの記憶データはクリアされますので、ご注意ください。

［参考］・何ものせていない状態で「印字」を押すと、空送りします。

95- 2-21

1 0.95 kg
2 0.90 kg
3 1.05 kg
4 1.00 kg
5 0.85 kg
6 1.15 kg
7 1.10 kg
- - - - - - - - -
7
7.00 kg

計量した個数　計量値の合計

4．カウンティングモードの場合

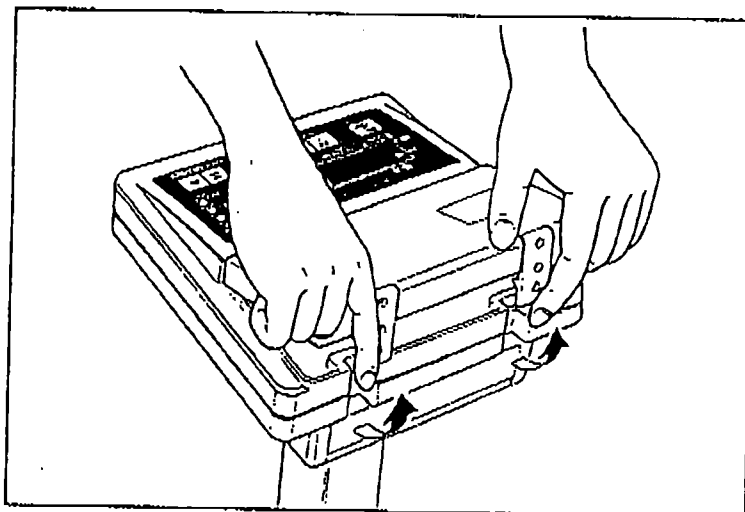
・カウンティングモードでは、個数を印字します。

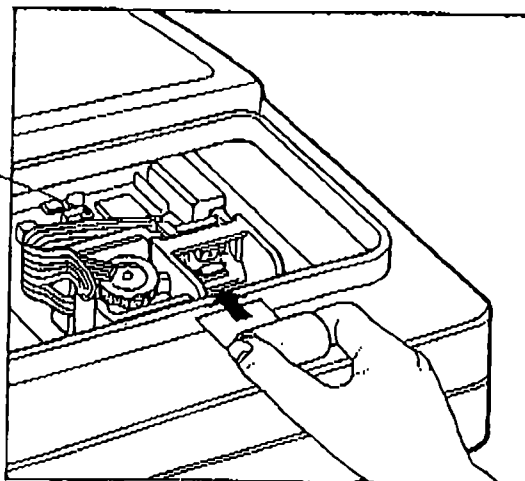
95- 2-21

1 100 PS
2 120 PS

レシートの交換

レシートが残りわずかになると、ピンク色に塗られたレシートが出てきます。計量・印字を一度中断して、レシートを交換してください。

1．レシート発行口部分のカバーを開け、レシートを外します。

⇒図のように表示部後部の2ヶ所を指で引き上げてカバーを取り外します。

2．新しいレシートをプリンターに挿入し、空送りスイッチを押すと、レシートがプリンターに引き込まれ、セットされます。

3、レシートが発行口から出るように、カバーをセットしてください。

6. 故障かな？と思ったら

● [ON/OFF] を押しても、表示がつかない

⇨電源プラグがＡＣ－１００Ｖのコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

● [ON/OFF] を押した時、表示チェック後、「０」表示にならない

⇨ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇨ハカリの上に物がのっていないか確認してください。
⇨水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇨強い風が直接当たらない場所に置いてください。

● 重さ表示がチラチラ変わる

⇨ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇨水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇨強い風が直接当たらない場所に置いてください。
⇨商品が支柱にさわっていないか確認してください。

● カウンティングモードで、個数が点滅表示する

⇨１個の重さが計数可能重さ以下です。
計数誤差がでるおそれがありますので、使用しないでください。

● [設定] を押しても、上・下限値設定モードの表示にならない
● [計数] を押しても、カウンティングモードの表示にならない

⇨ゼロ点マーク（◀）を確認してください。

表示されていないときは [ゼロ] を押してください。

⇨風袋引中でないか確認してください。
風袋引中マーク（◀）が表示されているときは、[風] を押し、解除してください。

● プリンター内蔵タイプで、レシートが発行しない

⇨プリンターカバーを開け、レシートが正しくセットされているか確認してください。

7. 標準仕様

型　式	ARX－60K
計量方式	電気抵抗線式
ひょう量	60kg
最小表示	0．01kg
計量皿寸法	幅350mm X 奥行500mm
表示方式	蛍光表示
表示内容	重量（個数）　5桁 ゼロ点マーク（◀） 風袋引中マーク（◀） 《LED表示》 チェッカーマーク［多い（橙）・OK（緑）・少ない（赤）］ カウンティングモードマーク（橙）
風袋引き範囲	59．99kgまで
本体重量	18kg （プリンター内蔵時　19kg）
消費電力	6W　プリンター連動時8W
使用電源	AC100V±10V　50／60Hz

仕様変更のお知らせ

この度、ＡＲＸ・ＡＲＢシリーズの機能アップのため、表示部を支持する
回転ブラケットの仕様を変更致しました
従いまして、取扱い説明書　Ｐ１下部を、訂正致します

表示部の角度調節

表示部を見やすい角度に調整します